

2011年1月4日
日鉄日立システムエンジニアリング株式会社
代表取締役社長 岩橋 良雄

2011年 社長年頭挨拶（弊社社内報掲載）

新年あけましておめでとうございます。

早いもので二十一世紀も最初の十年を終え、今年は次の十年が始まる節目の年となります。皆さんには、気持ちも新たに新年を迎えられたことと思います。

アジアを中心とした新興国の急速な経済成長や先進国の景気刺激策等により回復過程にあった世界経済ですが、昨年後半からは減速感が強まり、弱含みに転じています。日本国内においては、急速な円高の進行、輸出の鈍化、内需の低迷等により先行きの不透明感が増す中、急速なグローバル化の進展と共に、多くの企業が海外進出を余儀なくされています。

お客様企業が厳しい国際競争にさらされ、コスト競争力の徹底的な追求と海外市場を視野にいった事業展開を迫られる中、S Iベンダのグローバル化、情報システムのサービス化に拍車がかかり、業界の構造改革も進みつつあります。

厳しいビジネス環境とはいえ、臆することはありません。私たちには、戦後復興期、オイルショック、プラザ合意、バブル崩壊を乗り越えてきた歴史があります。ITについても、メインフレームからオープン化、インターネットへ、あるいは構造化からオブジェクト指向へといった変革に柔軟に適應してきました。時代の流れをつかみ、柔軟に対応しようとする意志さえあれば、「変化」がビジネスチャンスになります。

しかし、そのためには、営業にもS Eにも業務スタッフにも、お客様のお役に立つ「プロ」として、より高いレベルの「実力」が求められます。加えて、社員一人ひとりがしっかりとしたビジネス哲学を持って行動していかなければなりません。

「経験がないから踏み込まない」ではなく、お客様のニーズを的確にキャッチし、スピード感をもって新しいシステム、ビジネスを創り出していかうではありませんか。新しい時代を切り拓くことを大いに楽しもうではありませんか。

今年一年、皆さん自身とご家族の健康に留意し、明るく元気よく一步一步着実に前進していきましょう。

以上